

町民との意見交換を踏まえた
「政治を身近に感じてもらうに
は」に関する提言書

令和7年8月18日

田 原 本 町 議 会

田議第 92 号
令和 7 年 8 月 18 日

田原本町長 高江 啓史 様

田原本町議会議長 植田 昌孝

議会改革特別委員会委員長 藤井 誠人

町民との意見交換を踏まえた「政治を身近に感じてもらうには」 に関する提言書

1. はじめに

田原本町議会では、町民の皆様と議会との対話と理解を深めるため、令和 7 年 4 月 26 日、「政治を身近に感じてもらうには」をテーマとした意見交換会を開催いたしました。

この会では、若者の政治離れや情報発信の課題、議会への期待、高齢者支援、農業の将来など、多岐にわたる意見が寄せられました。

私たち議会は、この貴重なご意見を町政に反映すべく、以下のとおり意見を取りまとめ、ここに提出いたします。

2. 提言の趣旨

町民の声を起点とした政策形成は、信頼される自治の根幹です。本提言書は、町民の生の声をもとに、町政と議会が一体となって「政治をより身近なものにする」ための方策を提案するものです。

今後の施策立案・事業実施の際には、以下の提言をご参考いただき、町民参加型のまちづくりを一層推進していただくようお願い申し上げます。

3. 主な意見内容

- (1) 若年層・子育て世代の自治会活動や政治参加の促進
 - 子ども議会・高校生議会など、若年層が政治に触れる機会の創出
 - 学校教育での中立的な政治教育の推進
 - 投票率の地域・年齢別分析と公表による行動喚起
 - 投票行動に連動した地域通貨やポイント制の検討
 - 自治会の住民参画に向けた連携強化

- (2) 情報発信とフィードバックの改善
 - 広報紙や SNS を活用したわかりやすく伝わる表現の工夫
 - 文字情報だけでなくビジュアルを活用した発信方法の強化
 - 意見募集や施策実施後の「住民への結果報告（フィードバック）」の徹底

- (3) 農業の将来に向けた取組の推進
 - 耕作放棄地対策や農地保全のための地域ぐるみの支援制度の創設
 - 若者の新規就農支援（資金、研修、土地貸与等）と広報の強化
 - 地産地消の推進と、学校給食等での地元農産物の活用
 - 町民に対する農業の重要性についての継続的な啓発

- (4) 高齢者の支援と地域共生の推進
 - タクシー券制度の改善（申請方法の簡素化・配分の公平化）
 - 空き家活用による高齢者の居場所づくりや多世代交流拠点の整備
 - 健康ポイント制度の維持・強化と PR の推進
 - ごみの戸別回収など生活支援サービスの検討
 - 地域見守り体制の整備に向けた自治会との連携強化

4. おわりに

町民の皆様は、田原本町を「住みやすく、もっと良くしていきたい」と願い、多くの前向きな意見を寄せてくださいました。

議会と町行政が力を合わせ、この声を受け止め、施策へと確実につなげていくことが、信頼される町政の第一歩であると私たちは考えます。

本提言が、今後の田原本町政のさらなる発展に資するものとなることを願い、町長におかれましては、ぜひご検討賜りますようお願い申し上げます。